

事業計画の見込み量について

I 子ども・子育て支援給付

1 特定教育・保育（施設型給付）

① 幼稚園・認定こども園

■見込み量算出の考え方

対象家庭 類 型	1号認定：□A □B □C ■C' ■D □E ■E' ■F
	2号認定（幼稚園希望）：■A ■B ■C □C' □D ■E □E' □F ※A：ひとり親 B：フルタイム共働き C：フルタイム・パート等共働き（パート長時間） C'：フルタイム・パート等共働き（短時間） D：専業主婦 E：パート等共働き（長時間） E'：パート等共働き（短時間） F：共に未就労（以下、同様）
対象年齢	3歳～5歳
算出方法	<p>●国の手引きによる平成27年度～31年度の量の見込み 「量の見込み(人)」＝「家庭類型別児童数(人)」×「利用意向率(割合)」 ※「家庭類型別児童数(人)」＝「推計児童数(人)」×「家庭類型(割合)」 ※「利用意向率(割合)」＝ニーズ調査により把握した幼稚園・認定こども園利用意向の割合</p> <p>①アンケート調査によるニーズ量を参考に設定 ⇒専業主婦（主夫）家庭や就労時間短家庭、共働き家庭の幼稚園利用のみに おけるニーズ ⇒国の手引きによるニーズ量（子ども人口の減少に伴う平成29年度以降の 減少）と利用実績を踏まえ、設定</p> <p>★今後の検討課題としては、新規参入事業者の動向、認定こども園への移行、 市外利用者の見込み量</p>

■幼稚園・認定こども園の見込み量

地域別	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	1号	2号幼								
見込み量	897	112	924	115	915	114	906	113	879	110
ニーズ量	842	105	867	108	858	107	849	106	825	103

■地域別施設の利用状況（実績）

地域別	幼稚園数	平成25年度		平成26年度（見込み）	
		定員	利用者数	定員	利用者数
木津東部	3	585	459	585	405
木津西部	1	215	182	180	169
加茂					
山城					
計	4	800	641	765	574

■市外施設の利用状況（平成25年度）

項 目	3歳児	4歳児	5歳児	合計
幼稚園	123	166	153	442

② 保育園・認定こども園

■見込み量算出の考え方

対象家庭 類 型	3号認定：■A ■B ■C □C' □D ■E □E' □F
	2号認定（保育園希望）：■A ■B ■C □C' □D ■E □E' □F ※A：ひとり親 B：フルタイム共働き C：フルタイム・パート等共働き（パート長時間） C'：フルタイム・パート等共働き（短時間） D：専業主婦 E：パート等共働き（長時間） E'：パート等共働き（短時間） F：共に未就労（以下、同様）
対象年齢	0歳～5歳
算出方法	<p>●国の手引きによる平成27年度～31年度の量の見込み</p> <p>「量の見込み(人)」＝「家庭類型別児童数(人)」×「利用意向率(割合)」 ※「家庭類型別児童数(人)」＝「推計児童数(人)」×「家庭類型(割合)」 ※「利用意向率(割合)」＝ニーズ調査により把握した保育事業利用意向の割合</p> <p>①アンケート調査によるニーズ量を参考に設定</p> <p>⇒ひとり親家庭、共働き家庭（パート等就労時間長家庭）の保育事業利用ニーズ</p> <p>⇒国の手引きによるニーズ量（子ども人口の減少に伴う平成29年度以降の減少）と利用実績を踏まえつつも、就労意向の高まりを加味して設定</p> <p>★今後の検討課題としては、事業所内保育等地域型保育の見込み量との関係、認定こども園への移行、市外利用者の見込み量</p>

■保育園・認定こども園（保育園部）の見込み量

地域別	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	3号	2号保								
見込み量	177/567	1,349	178/570	1,358	179/573	1,367	180/576	1,376	182/579	1,383
ニーズ量	503/1,261	1,430	494/1,223	1,473	485/1,203	1,458	478/1,183	1,442	473/1,164	1,402

注)3号の/の左側は0歳児、右側は1歳児及び2歳児の合計

■地域別 施設の利用状況

地域別	保育所数	平成25年度						平成26年度(見込み)					
		定員			利用者数			定員			利用者数		
		0歳	1～2歳	3～5歳	0歳	1～2歳	3～5歳	0歳	1～2歳	3～5歳	0歳	1～2歳	3～5歳
木津東部	8	92	333	669	89	315	653	102	377	784	102	330	699
木津西部	3	36	138	282	35	130	251	36	138	281	35	123	227
加茂	2	18	75	281	18	73	248	18	70	290	18	64	233
山城	1	12	54	240	12	54	209	12	54	214	12	50	190
計	14	158	600	1472	154	572	1361	168	639	1569	167	567	1349

注)利用者数の平成25年度は平成26年3月31日の実績。平成26年度は5月1日現在の見込み。

■市外施設の利用状況

項 目	奈良市			奈良県(奈良市以外)			大阪市			京都府(相楽郡)			合計		
	0歳	1～2歳	3～5歳	0歳	1～2歳	3～5歳	0歳	1～2歳	3～5歳	0歳	1～2歳	3～5歳	0歳	1～2歳	3～5歳
保育所	1	5	2	1	2	4	0	0	1	1	0	2	3	7	9
認定こども園(保育所)															

2 地域型保育給付

① 小規模保育

② 家庭的保育

③ 居宅訪問型保育

④ 事業所内保育

Ⅱ 地域子ども・子育て支援事業

① 利用者支援事業

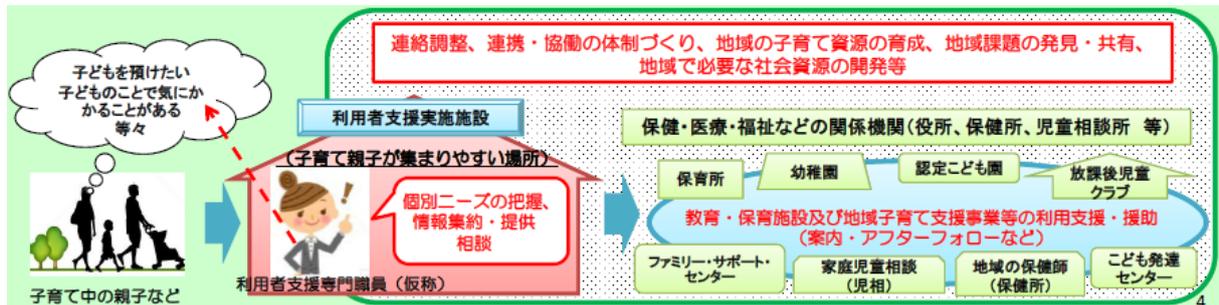
■見込み量算出の考え方

事業概要	子どもまたはその保護者の身近な場所で、教育・保育施設や地域の子育て支援事業等の情報提供及び必要に応じ相談・助言等を行うとともに、関係機関との連絡調整等を実施する事業
対象家庭 類 型	■A ■B ■C ■C' ■D ■E ■E' ■F
対象年齢	0歳～5歳
算出方法	<ul style="list-style-type: none"> ● 国による利用者支援事業の実施要綱（案）に基づき、か所数を見込む。 ※国による利用者支援事業の実施要綱（案） <ul style="list-style-type: none"> ● 日常的に利用でき、かつ相談機能を有する施設や市町村窓口などでの実施とする。 ● 特定型：行政の一環として行われる側面が強い形態 ● 基本型：独立した事業として行われる形態（地域子育て支援拠点における利用者支援など） ○ 現在、地域子育て支援拠点事業として、地域子育て支援センターは木津西部地域を除き3地域で開設し、親子同士の交流や子育て相談などを行っている。 ○ 木津川市未入園児サポートセンター事業を実施している保育所では、在宅育児を行っている保護者に対し子育てに関する情報提供や育児相談といった育児支援を行っている。 ● 地域の保育資源等の情報の収集・提供を行うなど、総合的に対応するためには、市役所窓口が適切と判断される。

■見込み量（実施か所数）

	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度
全 市	—	—	—	1	1

■地域別地域子育て支援拠点事業の利用状況		
地域別	実施施設	対象、開設時間、その他特記事項
木津東部	木津子育て支援センター 木津東部子育て支援センター	対象：原則2歳までの児童及びその保護者 開設時間： 木津 9:30～16:30(月～金)、 木津東部 9:00～17:00(月～金) 9:00～15:00(土)
加茂	加茂子育て支援センター	対象：原則2歳までの児童及びその保護者 開設時間：10:00～16:30(月～金)
山城	山城子育て支援センター	対象：原則2歳までの児童及びその保護者 開設時間：9:30～16:30(月～金)
木津西部	つどいのひろば「わくわくひろば」	対象：概ね3歳までの児童とその保護者 開設時間：10:30～15:30
木津東部	つどいのひろば「かるがもひろば」	対象：概ね3歳までの児童とその保護者 開設時間：10:00～15:30
計		



② 時間外（延長）保育事業

■見込み量算出の考え方

事業概要	保育認定を受けた子どもについて、通常の利用日及び利用時間以外の日及び時間において、保育所、認定こども園等において保育を行う事業
対象家庭 類 型	■A ■B ■C □C' □D ■E □E' □F
対象年齢	0歳～5歳
算出方法	<p>●国の手引きによる平成27年度～31年度の量の見込み 「量の見込み(人)」＝「家庭類型別児童数(人)」×「利用意向率(割合)」 ※「家庭類型別児童数(人)」＝「推計児童数(人)」×「家庭類型(割合)」 ※「利用意向率(割合)」＝ニーズ調査により把握した時間外保育（18時30分以降）事業利用意向の割合」</p> <p>①アンケート調査によるニーズ量を参考に設定 ⇒ひとり親家庭、共働き家庭（パート等就労時間長家庭）の時間外保育事業利用ニーズ ⇒ニーズ量（平成29年度以降減少）と実績を踏まえつつも、今後、時間外（延長）保育ニーズは増加すると想定し設定</p>

■見込み量（利用実人数）

地域別	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度
見込み量	968	983	996	1,007	1,019
ニーズ量	1,255	1,259	1,243	1,226	1,199

地域別	実施 保育所数	実施内容(時間帯等)	平成25年度			平成26年度(見込み)		
			利用者数			利用者数		
			0歳	1～2歳	3～5歳	0歳	1～2歳	3～5歳
木津東部	8(※9)	18:30～19:00(5園) ～19:30(2園) ～20:00(2園)	52	143	274	57	158	303
木津西部	3	18:30～19:00(2園) ～19:30(1園)	21	85	154	21	85	154
加茂	2	18:30～19:00	6	21	54	6	21	54
山城	1	18:30～19:00	2	7	14	2	7	14
計	14(※15)		81	256	496	86	271	525
			合計			833		
						882		

③ 放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）

■見込み量算出の考え方

事業概要	保護者が就労等により昼間家庭にいない小学校に就学している児童に対し、授業の終了後に小学校の余裕教室、児童館等を利用して適切な遊び及び生活の場を提供し、その健全な育成を図る事業
対象家庭 類型	■A ■B ■C □C' □D ■E □E' □F
対象年齢	小学校1年生～6年生
算出方法	<p>●国の手引きによる平成27年度～31年度の量の見込み 「量の見込み(人)」＝「家庭類型別児童数(人)」×「5歳児の利用意向率(割合)」 ※「家庭類型別児童数(人)」＝「推計児童数(人)」×「家庭類型(割合)」 ※「5歳児の利用意向率(割合)」＝ニーズ調査により把握した、5歳児の小学校低学年時及び高学年時の事業利用意向の割合 ※「小学生の利用意向率の割合」＝ニーズ調査により把握した、小学生の小学校低学年時及び高学年時の事業利用意向の割合</p> <p>①アンケート調査によるニーズ量を参考に設定 ⇒ひとり親家庭、共働き家庭（パート等就労時間長家庭）の放課後児童健全育成事業利用ニーズ ⇒小学生調査によるニーズ量と利用実績を踏まえ、設定</p> <p>★今後の検討課題としては、既に高学年を対象に実施しているため、ニーズ量の拡大をどう見込むか、また、子ども人口の減少（特に低学年）の中での見込み量をどう設定するか</p>

■地域別 放課後児童クラブの見込み量

地域別	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	低学年	高学年								
山城	102	13	103	14	104	15	105	16	106	17
加茂	118	38	119	39	120	40	121	41	123	42
木津西	245	66	247	68	249	70	251	72	253	74
木津東	423	55	452	58	488	64	524	70	559	76
見込み量	888	172	921	179	941	189	971	199	991	209
ニーズ量	819	249	876	255	744	279	801	282	792	303

■地域別 5歳児のニーズ量（利用実人数）

地域別	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	低学年	高学年								
山城	93	26	8	28	83	29	78	29	75	27
加茂	152	40	136	38	118	38	105	38	104	34
木津西	198	93	176	95	152	91	143	91	134	81
木津東	707	170	731	181	776	198	765	219	818	226
全市 (積上げ)	1,150	329	1,051	342	1,129	356	1,091	377	1,131	368
全市	1,171	330	1,144	344	1,135	359	1,095	380	1,131	372

■地域別 小学生のニーズ量（利用実人数）

地域別	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	低学年	高学年								
山城	69	18	60	18	63	24	60	21	48	18
加茂	111	24	114	24	69	21	72	24	84	24
木津西	165	78	162	66	126	78	105	69	135	69
木津東	480	177	549	201	486	213	573	234	528	267
全市 (積上げ)	825	297	885	309	744	336	810	348	795	378
全市	819	249	876	255	744	279	801	282	792	303

注) ニーズ調査は、2年生と5年生のみのため、出てきたニーズ量それぞれを3倍にしている。

■小学校区別放課後児童クラブの利用状況

小学校区	実施施設	クラス数、開設時間、その他特記事項	平成25年度				平成26年度(見込み)			
			定員数		利用者数		定員数		利用者数	
			1~3年	4~6年	1~3年	4~6年	1~3年	4~6年	1~3年	4~6年
木津	木津児童クラブ	2クラス:13時~19時	100	91	14	100	88	16		
相楽	相楽児童クラブ	2クラス:13時~19時	90	67	18	90	78	17		
高の原	高の原児童クラブ	1クラス:13時~19時	90	43	9	90	45	11		
木津川台	木津川台児童クラブ	2クラス:13時~19時	100	86	20	100	80	13		
相楽台	相楽台児童クラブ	2クラス:13時~19時	80	44	22	80	44	25		
梅美台	梅美台児童クラブ	2クラス:13時~19時	100	82	8	100	86	13		
州見台	州見台児童クラブ	2クラス:13時~19時	100	103	0	100	118	16		
南加茂台	南加茂台児童クラブ	1クラス:13時~19時	70	41	14	70	45	11		
加茂	加茂児童クラブ	1クラス:13時~19時	70	60	19	70	63	22		
恭仁	恭仁児童クラブ	1クラス:13時~19時	35	14	8	35	10	7		
上粕	上粕児童クラブ	1クラス:13時~19時	70	30	4	70	31	3		
棚倉	棚倉児童クラブ	2クラス:13時~19時	70	70	3	70	70	11		
梅美台	(民)なごみクラブ	1クラス:13時~19時30分	40	35	0	40	46	0		
梅美台	(民)第1かるがもクラブ	1クラス:13時~20時	36	40	0	15	7	3		
梅美台	(民)第2かるがもクラブ	1クラス:13時~20時				36	34			
城山台	(民)こむぎクラブ	1クラス:13時~20時				36	11			
計			1,051	806	139	1,102	856	168		

④ 子育て短期支援事業

■見込み量算出の考え方

事業概要	保護者の疾病等の理由により、家庭において養育を受けることが一時的に困難となった児童について、児童養護施設等に入所させ、必要な保護を行う事業
対象家庭 種類	■A ■B ■C ■C' ■D ■E ■E' ■F
対象年齢	0歳～18歳
算出方法	<p>●国の手引きによる平成27年度～31年度の量の見込み 「量の見込み(人日)」＝「家庭類型別児童数(人)」×「利用意向率(割合)」 ×「利用日数」</p> <p>※「家庭類型別児童数(人)」＝「推計児童数(人)」×「家庭類型(割合)」 ※「利用意向率(割合)」＝ニーズ調査により把握した全家庭の泊りがけの 預け先で「短期入所生活援助事業を利用」及び 仕方なく子どもだけで留守番をさせた」と回答 した人の割合</p> <p>※「利用日数」＝1年間の対処日数</p> <p>①アンケート調査によるニーズ量を参考に設定 ⇒国の手引きによるニーズ量が0となるため、現在の利用実績を踏まえ、子 ども人口の推計に合わせて設定</p>

■見込み量（利用延日数）

地域別	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度
全 市	12	13	14	14	13
ニーズ量	0	0	0	0	0

■事業実績

事業概要	平成25年度 実績	平成26年度 見込み
対 象：小学校終了前の児童 実施施設：京都大和の家	延12日利用	延12日利用

⑤ 地域子育て支援拠点事業

■見込み量算出の考え方

事業概要	乳幼児及びその保護者が相互の交流を行う場所を開設し、子育てについての相談、情報の提供、助言、その他の援助を行う事業
対象家庭類型	■A ■B ■C ■C' ■D ■E ■E' ■F
対象年齢	0歳～2歳
算出方法	<p>●国の手引きによる平成27年度～31年度の量の見込み 「量の見込み(人回)」＝「家庭類型別児童数(人)」×「利用意向率(割合)」 ×「利用意向回数」</p> <p>※「家庭類型別児童数(人)」＝「推計児童数(人)」×「家庭類型(割合)」 ※「利用意向率(割合)」＝ニーズ調査により把握した0～2歳の全家庭の利用している人及び、今後利用したいと回答した人の割合 ※「利用意向回数」＝利用したい1か月あたりの回数</p> <p>①アンケート調査によるニーズ量を参考に設定 ⇒国の手引きによるニーズ量が少ないため（主に幼稚園や保育所利用者が調査対象）、実績を踏まえて設定。また、国の手引きでは、対象が0～2歳となっているが、市では3～5歳も実施している。したがって、就学前児童全年齢を対象に見込み量を設定。</p>

■見込み量（1か月あたり利用延人回）

地域別	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	0～2歳	3～5歳								
木津東部	5,544	590	5,441	614	5,393	621	5,344	627	5,308	628
木津西部	3,860	637	3,756	656	3,695	650	3,634	643	3,583	625
加茂	160	27	165	29	170	31	174	33	180	36
山城	96	16	99	18	102	18	105	20	108	22
全市	9,660	1,270	9,461	1,317	9,360	1,320	9,257	1,323	9,179	1,311
ニーズ	2,007		1,953		1,921		1,890		1,863	

■地域別地域子育て支援拠点事業の利用状況						
地域別	実施施設	対象、開設時間、その他特記事項	平成25年度実績		平成26年度見込み	
			0～2歳	3～5歳	0～2歳	3～5歳
木津東部	木津子育て支援センター 木津東部子育て支援センター	対象：概ね3歳未満の児童及びその保護者 開設時間： 木津 9:30～16:30(月～金)、 木津東部 9:00～17:00(月～金) 9:00～15:00(土)	9,657	2,052	9,700	2,100
加茂	加茂子育て支援センター	対象：概ね3歳未満の児童及びその保護者 開設時間：9:30～16:30(月～金)	1,852	0	1,900	0
山城	山城子育て支援センター	対象：概ね3歳未満児童及びその保護者 開設時間：9:30～16:30(月～金)	1,048	0	1,100	0
木津西部	つどいのひろば「わくわくひろば」	対象：概ね3歳未満の児童とその保護者 開設時間：10:30～15:30	3,934	668	4,327	735
木津東部	つどいのひろば「かるがもひろば」	対象：概ね3歳未満の児童とその保護者 開設時間：10:00～15:30	4,834	476	5,317	524
計			21,325	3,196	22,344	3,359

⑥ 一時預かり事業

■見込み量算出の考え方

事業概要	家庭において保育を受けることが一時的に困難となった乳幼児について、主として昼間において、認定こども園、幼稚園、保育所、地域子育て支援拠点その他の場所において、一時的に預かり、必要な保護を行う事業
対象家庭 類 型	1号認定：□A □B □C ■C' ■D □E ■E' ■F 2号認定（幼稚園希望）：■A ■B ■C □C' □D ■E □E' □F その他：■A ■B ■C ■C' ■D ■E ■E' ■F
対象年齢	1号認定及び2号認定：3歳～5歳 その他：0～5歳
算出方法	<p>●国の手引きによる平成27年度～31年度の量の見込み</p> <p>【1号認定による利用】 「量の見込み」＝「家庭類型別児童数」×「利用意向」 ※「家庭類型別児童数(人)」＝「推計児童数(人)」×「家庭類型(割合)」 ※「利用意向」＝ニーズ調査により把握した3～5歳の、専業主婦家庭等の幼稚園利用者の不定期事業利用意向の年間の平均日数</p> <p>【2号認定による利用】 「量の見込み」＝「家庭類型別児童数」×「利用意向」 ※「家庭類型別児童数(人)」＝「推計児童数(人)」×「家庭類型(割合)」 ※「利用意向」＝2号認定のうち、幼児期の学校教育の利用希望が強いと想定される人の年間の就労日数</p> <p>【その他の利用】 「量の見込み」＝「家庭類型別児童数」×「利用意向」 －「1号認定における利用日数」 －不定期利用事業における「パピ-ッター」及び「その他」の利用日数 ※「家庭類型別児童数(人)」＝「推計児童数(人)」×「家庭類型(割合)」 ※「利用意向」＝ニーズ調査により把握した不定期事業利用意向の年間の平均日数</p> <p>①アンケート調査によるニーズ量を参考に設定 ⇒国の手引きによるニーズ量は実績に比べて乖離が大きい（2号認定は、すべて利用と設定し、年間の就労日数を乗じているなど）ため、実績を踏まえて設定。</p>

■見込み量（年間あたり利用平均日数）

全市	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
1号	1,968	2,027	2,007	1,988	1,929
2号	1,632	1,681	1,665	1,648	1,599
その他	6,554	6,554	6,488	6,423	6,226

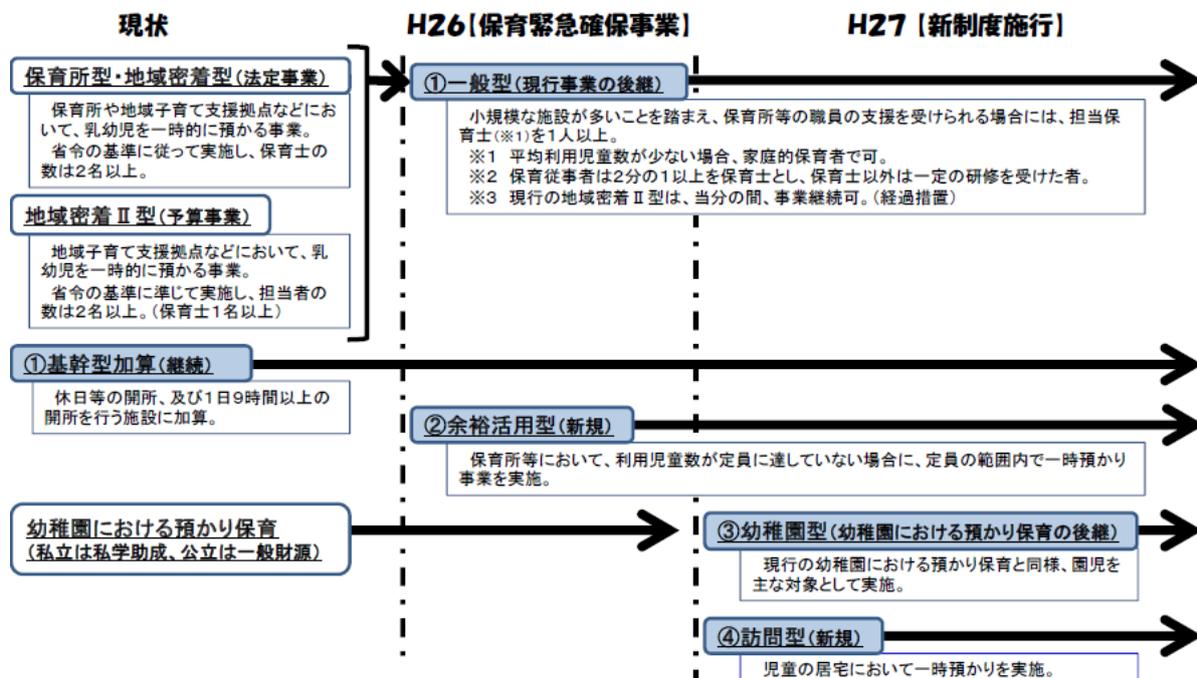
参考／ニーズ量

1号	1,328	1,368	1,354	1,339	1,302
2号	24,086	24,807	24,561	24,286	23,612
その他	21,300	21,341	21,061	20,773	20,330

■地域別一時預かり事業の利用状況

地域別	実施施設数	対象、開設時間、その他特記事項	平成25年度				平成26年度(見込み)			
			定員数		利用者数		定員数		利用者数	
			幼稚園	その他	幼稚園	その他	幼稚園	その他	幼稚園	その他
木津東部	5	保育園 満6か月以上(園により異なる)、 8:30~16:30 幼稚園 在園児 7:30~18:00		42人/日	3234	5550		52人/日	3234	5850
木津西部	0									
加茂	1	満6か月以上、8:30~16:30		10人/日		653		10人/日		653
山城	1	満6か月以上、8:30~16:30		5人/日		717		5人/日		717
計			0	57人/日	3234	6920	0	67人/日	3234	7220

○ 家庭において保育を受けることが一時的に困難となった乳幼児を保育所等で一時的に預かる事業について、事業の普及を図るため下記のとおり事業類型等を見直し、①一般型(基幹型加算)、②余裕活用型、③幼稚園型、④訪問型に再編する。



※ 平成26年度以降の各類型の名称については仮称。

5

⑦ 病児・病後児保育事業

■見込み量算出の考え方

事業概要	病児について、病院・保育所等に付設された専用スペース等において、看護師等が一時的に保育等を行う事業 病後時などに、ファミリー・サポート・センター事業を利用して子どもを預かったりすることを含む
対象家庭 類 型	■A ■B ■C □C' □D ■E □E' □F
対象年齢	0歳～5歳
算出方法	<ul style="list-style-type: none"> ●国の手引きによる平成27年度～31年度の量の見込み 「量の見込み」＝「家庭類型別児童数」×「利用頻度」×「利用意向日数」 ※「家庭類型別児童数(人)」＝「推計児童数(人)」×「家庭類型(割合)」 ※「利用意向」＝ニーズ調査により把握した対象事業等を利用した、または利用したいと回答した人の割合 ※「利用意向日数」＝利用意向を示した人の利用日数及び利用希望日数 ①アンケート調査によるニーズ量を参考に設定 ⇒国の手引きによるニーズ量は、実績に比べて乖離が大きい（母親、父親が休んで対応した人で、病児・病後児保育の利用意向者など）ため、現在の利用実績を踏まえて、子ども人口の推計に合わせて見込み量を設定。

■見込み量（年間あたり利用平均日数）

地 域	平 成 27年度	平 成 28年度	平 成 29度	平 成 30年度	平 成 31年度
全 市	30	30	29	29	28
ニーズ	3,043	3,053	3,014	2,973	2,909

■事業実績

事業概要	平成25年度 実績	平成26年度 見込み
対 象：満1歳～小学校1年生まで 実施施設：京都山城総合医療センター	延15人利用	延30人利用

⑧ 子育て援助活動支援事業（ファミリー・サポート・センター）

■見込み量算出の考え方

事業概要	乳幼児や小学生等の児童を有する子育て中の保護者を会員として、児童の預かり等の援助を受けることを希望する人と、当該援助を行うことを希望する人との相互援助活動に関する連絡や調整を行う事業
対象家庭 類 型	■A ■B ■C ■C' ■D ■E ■E' ■F
対象年齢	小学生
算出方法	<p>●国の手引きによる平成27年度～31年度の量の見込み 「量の見込み」＝「家庭類型別児童数」×「利用意向率」×「利用意向日数」 ※「家庭類型別児童数(人)」＝「推計児童数(人)」×「家庭類型(割合)」 ※「利用意向率」＝ニーズ調査により把握した5歳児の放課後の時間を過ごさせたい場所で、対象事業を選択した人の割合 ※「利用意向日数」＝利用意向を示した人の利用希望日数</p> <p>①アンケート調査によるニーズ量を参考に設定 ⇒国の手引きによるニーズ量と、平成26年度の利用見込みを踏まえて設定。 ★今後の検討課題としては、平成26年度実施予定の事業であり、実績がないため、平成26年度の利用見込みは妥当かどうか。</p>

■見込み量（年間あたり利用平均日数）

地 域	平 成 27年度	平 成 28年度	平 成 29度	平 成 30年度	平 成 31年度
全 市	105	110	115	120	125

参考／ニーズ量

全 市	166	167	170	172	173
-----	-----	-----	-----	-----	-----

注)5歳児の低学年時、高学年時の利用希望の合算

■事業実績

事業概要	平成25年度 実績	平成26年度 見込み
対 象：3か月～小学校6年生 実施施設：援助会員宅	0	延30件利用

⑨ 乳児家庭全戸訪問事業

■見込み量算出の考え方

事業概要	生後4か月までの乳児のいる全ての家庭を訪問し、子育て支援に関する情報提供や養育環境等の把握を行う事業
対象家庭 種類	■A ■B ■C ■C' ■D ■E ■E' ■F
対象年齢	生後4か月までの乳児
算出方法	<ul style="list-style-type: none"> ● 人口推計による0歳児の人数、訪問実績件数等により量を見込む 「量の見込み」＝「計画期間別0歳児の人口推計」×「0歳児の平均訪問率」 ※「0歳児の人口」：過去3年間程度の住基人口による0歳児の人口 ※「訪問件数（実績）」：過去3年間程度の訪問件数 ※「0歳児の平均訪問率」＝「3年間の訪問件数」÷「3年間の0歳児の人口」

■見込み量（年間対象児数）

地域	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度
全市	630	625	620	610	600

参考：0歳児人口 684 671 660 650 643

■事業実績

事業概要	平成25年度 実績	平成26年度 見込み
対象：生後2か月までの乳児 実施内容：保健師による家庭訪問、調査、 指導	706	600

注)各年度0歳児人口(4月1日現在) 724人 694人

⑩ 妊婦健康診査事業

■見込み量算出の考え方

事業概要	妊婦の健康の保持及び増進を図るため、妊婦に対する健康診査として、①健康状態の把握、②検査計測、③保健指導を実施するとともに、妊娠期間中の適時に必要に応じた医学的検査を実施する事業
対 象	妊娠届出者
算出方法	<ul style="list-style-type: none"> ● 人口推計による〇歳児の人数、妊婦観光審査実績件数等により量を見込む 「量の見込み（初回健診分）」＝「計画期間別〇歳児の人口推計」×「初回健診平均割合」 「量の見込み（延健診件数）」＝「計画期間別〇歳児の人口推計」×「1人あたりの平均健診回数」 ※「〇歳児の人口」：過去3年間程度の住基人口による〇歳児の人口 ※「初回健診件数（実績）」：過去3年間程度の件数 ※「延健診件数（実績）」＝過去3年間程度の件数 ※「初回健診の平均割合」＝「初回健診件数」÷「〇歳児人口」 ※「1人あたりの平均健診回数」＝「延健診件数（実績）」÷「初回健診件数」 ※「初回健診分の量の見込み」＝「計画期間別〇歳児の人口推計」×

■見込み量（年間対象児数）

全 市	平 成 27年度	平 成 28年度	平 成 29度	平 成 30年度	平 成 31年度
件 数	715	720	725	712	703
回 数	7,870	7,920	7,980	7,830	7,730

■事業実績

事業概要	平成25年度 実績	平成26年度 見込み
対 象：妊娠届出者	642	700
実施内容：個別医療機関による健診回数	7,227	7,500

注) 平均健診回数 11.26回 10.71回

⑪ 養育支援訪問事業

■見込み量算出の考え方

事業概要	養育支援が特に必要な家庭に対して、その居宅を訪問し、養育に関する指導・助言等を行うことにより、当該家庭の適切な養育の実施を確保する事業
対 象	養育の支援が特に必要な家庭
算出方法	● これまでの実績と子ども人口の推計を踏まえ、見込み量を設定。

■見込み量（対象家庭数）

全 市	平 成 27年度	平 成 28年度	平 成 29度	平 成 30年度	平 成 31年度
家庭数	35	34	34	34	34

■事業実績

事業概要	平成25年度 実績	平成26年度 見込み
対 象：養育困難家庭 実施内容：保健師等が対象家庭を訪問し、指導	延34件	延35件

⑫ 養支援児童、要保護児童等の支援に関する事業

■見込み量算出の考え方

事業概要	要保護児童対策協議会の機能強化を図るため、調整機関職員やネットワーク構成員（関係機関）の専門性強化と、ネットワーク機関相互の連携強化を図る取り組みを実施する事業
算出方法	● これまでの実績と子ども人口の推計を踏まえ、見込み量を設定。

■見込み量（開催回数）

全 市	平 成 27年度	平 成 28年度	平 成 29度	平 成 30年度	平 成 31年度
回 数	58	59	59	60	61

■事業実績

事業概要	平成25年度 実績	平成26年度 見込み
代表者会議・実務者会議・ケース会議の合計	65	57

*平成25年度は、重症ケースがあった。

平成24年度実績：55

⑬ 実費徴収に係る補足給付を行う事業

■見込み量算出の考え方

事業概要	保護者の世帯所得の状況等を勘案して、特定教育・保育施設等に対して保護者が支払うべき日用品、文房具その他の教育・保育に必要な物品の購入に要する費用または行事への参加に要する費用等を助成する事業
算出方法	●

■見込み量（家庭数）

全 市	平 成 27年度	平 成 28年度	平 成 29度	平 成 30年度	平 成 31年度
家庭数					

⑭ 多様な主体が本制度に参入することを促進するための事業

■見込み量算出の考え方

事業概要	特定教育・保育施設等への民間事業者の参入の促進に関する調査研究その他多様な事業者の能力を活用した特定教育・保育施設等の設置または運営を促進するための事業
算出方法	●

■見込み量

全 市	平 成 27年度	平 成 28年度	平 成 29度	平 成 30年度	平 成 31年度